

対外直接投資に係る金銭の貸付契約に関する届出書

財 務 大 臣 殿
(日本銀行経由)届出年月日： _____
届 出 者： _____
氏名又は名称及び
代表者の氏名 _____ (記名押印又は署名)
住所又は所在地 _____
_____ 担当者
職業又は業種 _____ 電 話 _____

下記のとおり届出します。

| | | | | | |
|--|-----------------------------------|--------------------|------------|---------------|-----|
| 1 投 資 先 の 概 要 | (1) 取 引 の 相 手 方 | 名 称 | | | |
| | | 所 在 地 | | | |
| | | 資 本 金 | | | |
| | | 設 立 年 月 日 | | | |
| | | 事 業 内 容 | | | |
| | | 届出者との関係 (該当分に○) | イ 届出者の出資比率 | % | |
| | | ロ 共同投資者の出資比率 | % | | |
| | ハ 役員を派遣 | | | | |
| | ニ 長期にわたる原材料の供給又は製品の売買 | | | | |
| | ホ 重要な製造技術の提供 | | | | |
| (2) 投 資 残 高 (貸付後) | | 出 資 | 貸 付 け | 社 債 等 | |
| | 届 出 者 | | | | |
| | 共 同 投 資 者 (うち居住者分) | () | () | () | () |
| (3) 直近の届出受理年月日 及び受理番号(届出者分) | | | | | |
| 2 取 引 の 内 容 ・ 実 行 時 期 等 | (1) 金 額 | | | | |
| | (2) 契 約 時 期 | | | | |
| | (3) 貸 付 時 期 | | | | |
| | (4) 金 利 | | | | |
| | (5) 貸 付 期 間 | | | | |
| | (6) 元 本 回 収 方 法 (該当分に○) | イ 期日一括 | ロ 分割 | (具体的に記入すること。) | |

(裏面)

| | |
|---------------|--|
| 3 取引を行おうとする理由 | |
| 4 その他の事項 | |

| | |
|---------|--|
| 届出受理年月日 | |
| 届出受理番号 | |

財務大臣の記入欄

| 事 項 | 年 月 日 及 び 記 名 押 印 |
|------------------------------------|-------------------|
| 本届出に係る取引は、 年 月 日から行う ことができる。 | |

(記入要領)

- 「1 投資先の概要」欄中、「(1) 取引の相手方」欄の「所在地」欄には国又は地域名も記入し、「資本金」欄には原通貨をもって記入し、「事業内容」欄には定款に従って主要事業内容を簡潔に記入し、「届出者との関係」欄の「ロ 共同投資者の出資比率」欄には、届出者の100%出資の子会社及び共同投資者(届出者と共同して当該外国法人の経営に参加する者)の合計出資比率を記入すること。
また、「(2) 投資残高」欄には、当該投資先に対して払い込んだ金額の残高を、実際の取引通貨をもって記入すること。
- 「2 取引の内容・実行時期等」欄中、「(1) 金額」欄には実際の取引通貨をもって記入し、「(6) 元本回収方法」欄は「ロ 分割」により回収する場合には、その回収方法を具体的に記入すること。
(例：○年○月を第1回とし、以降1年ごとに○年○月まで○回○〇円ずつ回収。)
- 「3 取引を行おうとする理由」欄は、次の例にならって記入すること。
(例：投資先が○〇国○地区で○〇工場を増設することとなり、その建設資金を貸し付けるため。)
- 「4 その他の事項」欄には、資金使途が再投資資金の場合は、再投資先の①名称、②国籍、③出資比率(投資先→再投資先)及び④事業内容を記入すること。
なお、投資先の事業計画として、①設備完成(予定)年月、②操業開始(予定)年月又は生産開始(予定)年月、③生産能力として、漁業の場合は漁船数及びトン数、漁法、平均月当たり水揚量、製造業の場合は個別商品ごとに平均月当たり製造数量、④設立後3年間の年間販売計画として、商品名(魚種を含む)、並びに商品名ごとの販売先及び販売数量又は金額(国内・輸出の別。なお輸出にあつては輸出先国別。)を記入すること。
- 上記様式に記入することができない場合は、日本産業規格A4の用紙により上記事項の順序に従って記入するか、別紙を添付して差し支えない。